

## 子どもの体調が悪い時は？

- 夜間に急にお子さんが発熱！あわてて、救急病院に駆け込む前に、もう一度お子さんの状態をしっかり、みてあげてください。

**38度以下**で、顔色が良くて機嫌もよくて食欲もある

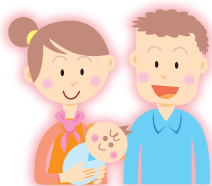


このような場合は、  
たいてい受診は明日でも大丈夫！  
水分をしっかり取って、  
お家でようすをみましょう。

子どもは38度台の熱があっても元気になっているのをよくみかけます。この場合、一晩くらい様子を見るのは大丈夫でしょう。次の日の日中のあいだに念のためかかりつけ医に診てもらいましょう。

次の場合には、病院に連絡して受診しましょう

- きげんがいちじるしく悪く、あやしても泣き止まない
- 嘔吐(おうと)や下痢(げり)がひどく、ぐったりしている
- 脱水状態(おしっこが **8時間** 出ない・水分がのめない)
- いきが苦しそう、顔色が青ざめている
- 意識がぼんやり、痙攣(けいれん)を起こしている
- 3ヶ月未満児の、**38.5度以上** の発熱



緊急時の電話番号一覧は、34・35ページ

# 竹原市や近郊の小児科医



米田小児科医院 ☎(0846)22-1239 竹原市中央2-18-15

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	●	●	●	△	●	●
午後(受付)2:00~2:30	予防接種	予防接種	乳幼児健診	△	予防接種	● 午後4時まで
午後 3:00~6:00	●	●	●	△	●	

- ・予防接種 診療時間内で、2、3日前までに要予約。  
※木曜日午前中の診察についてはお電話でお問い合わせください。

この医院 (内科・循環器・小児科) ☎(0846)22-2325 竹原市中央3-15-1

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
午後 2:00~6:00	●	●	●	△	●	△

- ・予防接種 診療時間内で、2、3日前までに要予約。
- ・乳児健診 診療時間内で。詳細はお電話にて。

## 近隣の小児科のある病院

病院名	住所	電話番号
県立安芸津病院	東広島市安芸津町三津4388	☎(0846)45-0055
興生総合病院	三原市円一町2-5-1	☎(0848)63-5500
三原赤十字病院	三原市東町2-7-1	☎(0848)64-8111
東広島医療センター	東広島市西条町寺家513	☎(082)423-2176
JA尾道総合病院	尾道市平原1-10-23	☎(0848)22-8111
中国労災病院	呉市広多賀谷1-5-1	☎(0823)72-7171

産前・産後

親子の居場所や  
相談場所

一時期かり・保育

医  
療

公的支援

子育てマップ

アプリやWEB  
サイトの紹介

# 子どもを診てもらえる竹原市内の医療機関

※P50の竹原市内の子どもを診てもらえる「医療機関まっぷ」と併せてご覧ください

## 目・耳・鼻・皮ふについて

診療科目	病院名	住所	電話番号
眼科	日谷眼科	中央2-7-7	☎(0846)22-2049
耳鼻科	あまの耳鼻咽喉科	中央3-3-1	☎(0846)22-0882
	いのくちクリニック	忠海中町2-1-40	☎(0846)26-0700
皮膚科	おぎ皮膚科アレルギー科クリニック	下野町小井出 3270-1	☎(0846)23-5512

※目・耳・皮ふの病気は、小児科で対応できる場合もありますが、専門の診療科で診てもらう方がより良い。

## 子どものケガで傷口を縫ってもらう必要があるかもしれない場合（一般診療時間内）

※まずは電話で相談して頂くことをお勧めします。診療時間外は2次輪番病院にご相談ください。

診療科目	病院名	住所	電話番号
外科	円山医院	中央3-17-12	☎(0846)22-0878
	大田整形外科おおた内科	中央4-4-25	☎(0846)23-5101
	城原胃腸科整形外科	中央3-4-1	☎(0846)22-2632

## ● 竹原市2次輪番病院（一般診療時間内・外問わず）

診療科目	病院名	住所	電話番号
外科	馬場病院	下野町1744	☎(0846)22-2071
	安田病院	下野町3136	☎(0846)22-6121
	県立安芸津病院	東広島市安芸津 町三津4388	☎(0846)45-0055

※竹原市2次輪番病院…その日の当番病院がまっています。竹原市の広報等でご確認ください。消防へのお問い合わせは、東広島市消防局 ☎(082)422-0119

※許可を頂いた医療機関のみ掲載しています。

監修：竹原地区医師会





## ■ 歯について

歯科医院名	住所	電話番号	小児 歯科	矯正 歯科
石井歯科クリニック	竹原市竹原町 3078-14	☎(0846)22-6695	●	●
今田歯科医院	竹原市忠海 中町2-2-51	☎(0846)26-0018	●	
大田歯科医院	竹原市竹原町 下新開3511-7	☎(0846)22-0879	●	●
おかだ歯科	竹原市中央 4-5-17	☎(0846)22-7111	●	
第2米田歯科医院	竹原市福田町 1287-1	☎(0846)24-1224	●	
高橋歯科医院	竹原市中央 3-16-36	☎(0846)22-2074	●	
西野歯科	竹原市西野町 2153-3	☎(0846)29-2229	●	
三好歯科医院	竹原市忠海中 町2-20-24	☎(0846)26-0739	●	
安田歯科医院	竹原市下野町 3245-12	☎(0846)22-7727	●	●

※許可を頂いた医療機関のみ掲載しています。

監修：竹原・豊田歯科医師会

### …こんな時どうしたらいいの？…

#### ● まずは怪我の状態の確認

砂などが口の中にあるときは、口を水でよくゆすぎ、異物などを取り除きます。出血があるときには清潔なガーゼなどで出血した部分を押さえ血を止めます。

#### ● 転んで歯が抜けてしまった…

落ちた歯に汚れがついていたら、急いで水でごく短時間(30秒以内)で汚れをそっと洗い流してください。すぐに牛乳や生理食塩水などにつけて歯科医院にいきましょう。

#### ● 歯を打ったようだ…

歯が欠けてしまった時は、出来るだけ破片を集めましょう。折れた歯の部分や形によりませんが、歯医者さんで元に戻せる可能性があります。様子を見ていて、変色してきた時には歯医者さんへ行きましょう。



# 木曜日、休日、夜間に診てもらえるところ

コロナ禍のため、発熱があるお子様は受診前にお電話して下さい

地 域	曜 日	病 院 名	電 話 番 号
東広島市	木	県立安芸津病院	☎ 0846-45-0055
	木	かわはらこどもクリニック	☎ 082-493-8882
	月～土夜	東広島市小児科当番医	
	木・土・日	本城内科小児科	☎ 082-422-6744
	土・日	まきだクリニック	☎ 082-491-1751
	日・祝	東広島市休日診療所	☎ 082-422-5400
三原市	木	木原こどもクリニック	☎ 0848-61-0321
	月～金夜	三原市医師会休日夜間急患診療所	☎ 0848-67-7040
	日・祝	三原赤十字病院	☎ 0848-64-8111
呉市	毎夜	呉市医師会小児夜間急患センター	☎ 0823-32-1299
尾道市		JA尾道総合病院	☎ 0848-22-8111
竹原市	日・祝	竹原市休日診療所	☎ 0846-22-7157

★東広島市ではまず当番病院が対応し、必要であれば 東広島医療センター（小児科）へ紹介となります。  
呉市では、呉医療センター、中国労災病院の2病院が順番に対応しています。



※祝日、GW、お盆、年末年始は直接お問い合わせください。

※上記医療機関には、承諾を得て掲載しています。他にも近郊で日曜診療されている医療機関もあるようです。

診 療 時 間 な ど	
木曜日午後は、発熱・感染症などの予約外来ですが、急患対応は行っています。お電話でご相談ください。	東広島市安芸津町三津4388
木曜日 9:00～13:00 15:00～18:00	東広島市西条中央7-3-45
 <a href="#">救急医療 Net HIROSHIMA</a> <a href="#">検索</a> <a href="#">マップ</a> 「休日夜間当番」→「広島中央」→「東広島市」 「小児科」 をクリックして当番病院を見つける 月曜日～土曜日 18:00～22:00	
木曜日 土日祝 8:00～12:30 14:30～18:00 祝日が火曜の場合は休診。	東広島市西条中央8-3-3
土曜日午後 15:30～17:30 日曜日 9:00～12:30 (受付8:30より) 定休日：木曜日、祝日	東広島市高屋町中島31-17
日曜日・祝日 9:00～12:30 13:30～16:00 小児科・内科・歯科	東広島市西条町土与丸1113
木曜日 9:00～12:00 15:00～17:30	三原市円一町1-1-7 フジグラン三原2F
平日 (月曜日～金曜日) 19:00～22:00 (小児科医による)	三原市宮浦1-15-1
日曜日 受付9:00～11:30 13:00～16:00	三原市東町2-7-1
毎日 19:00～22:40	呉市朝日町15-24
診療時間外は電話にてご相談の上受診してください。	尾道市平原1-10-23
日曜日・祝日 9:00～12:00 13:00～16:00 小児科・内科の医師を中心に当番編成しています。必要であれば、三原赤十字病院や東広島医療センターへ紹介します。	竹原市中央3-14-1

★当日の当番病院が新聞等でわからない時には、

・東広島市消防局……☎(082)422-0119 ・三原市消防本部……☎(0848)62-2101

・呉市消防局……☎(0823)26-0119 への問い合わせでも教えてもらえます。

くれぐれも救急車の要請でない場合には、119番通報を使わないようにお願いします。

# こどもの救急



- 子どもの体調の異変に気がついたときに時間外に受診すべきか迷う場合

## パソコンや携帯サイトを利用

イクちゃんネットメニューより「いざというとき」を参考にする。

## #8000を利用

☎#8000を利用 19:00～翌8:00の時間帯であれば「小児救急電話相談」または  
☎(082)505-1399（看護師、保健師が対応しています）

※ただし回線が混み合っている場合があります。

※2012年4月～ 22:00～翌8:00の時間帯は東京の民間業者が対応しています。

## 誤飲した時は…

- 広島中毒119番 …… ☎0120-279-119 ☎(082)567-6099  
(月～金 9:00～17:00 祝日、お盆休、年末年始を除く)
- 大阪中毒110番 …… ☎(072)727-2499 (365日 24時間対応)
- つくば中毒110番 …… ☎(029)852-9999 (365日 9:00～21:00対応)
- タバコ専用電話 …… ☎(072)726-9922 (365日 24時間テープ対応)

「救急相談センター広島広域都市圏」へ電話

# 7 1 1 9

つながらない場合や、山口県のエリアから携帯電話でかける場合は  
**082-246-2000**

救急相談センター 広島広域都市圏

看護師が、病気の症状を把握し

緊急性

応急手当の方法

適切な医療機関

などについてアドバイスします。

緊急性が高い

24時間  
365日  
対応

緊急性が低い

ただちに119番へ転送します

医療機関を案内します

※子どもに限らず「救急車を呼ぼうか」と判断に迷った時も利用できます。  
※竹原市・東広島市も対応しています。

**緊急時は、ためらわず119番へ**

# 病気中の子どもを預かってくれるところ

## 病児保育室「ポピー」・病後児保育室「さくらんぼ」

まずは、病児病後児専用ダイヤルに電話

☎080-5299-8081

受付時間／7:00～20:00

次に、米田小児科を受診



症状が軽い時

症状が回復に向かい  
症状が軽くなると…

症状が重い時

### 病後児保育室 「さくらんぼ」

ふれあい館ひろしま2階

☎ (0846) 22-9100



### 病児保育室 「ポピー」

米田小児科医院2階

☎ 080-5299-8081



- 対 象／生後3か月～小学6年生（定員2名）
- 開設日／月～金（ポピーは木曜日は休み）（土・日・祝日・GW・お盆・年末年始は休み）
- 時 間／8:30（診療後）～17:30（17:30以降の延長は要相談）
- 利用料／1日…2,000円／（市外2,600円） 半日…1,500円／（市外2,000円）
- 延長料／400円

※半日とは次の通りです…8:30～12:30 / 13:30～17:30



# 子どものケガや病気について

\* 「こどもの病気ハンドブック」からの引用です。

## けいれん

子どもの脳は未熟なため、発熱などの刺激により容易にけいれんを起こしますが、多くの場合はあまり心配ありません。**あわてずにけいれんの持続時間や顔つき・眼つき、身体の様子などを観察し、先生に伝えてください。**

こんな症状があれば、すぐに病院へ

- 1回のけいれんが5～10分以上続く。
- 短い発作が頻発(30分で2回)。
- けいれん後に麻痺がある。
- 初めての発作や1歳未満である。
- 発作後の全身状態・顔色が不良。



## 頭を強く打った

**6時間以内は注意が必要です。**1時間ごとに症状が出てないか確認しましょう。

こんな症状があれば、すぐに病院(脳神経外科のある医療機関)へ

- 打った後しばらく泣かず意識がない。
- 機嫌が悪く、目がうつろ。
- 吐くものがないのに何度も嘔吐する。
- ひきつけ、けいれんを起こす。
- 片側の手足の動きが悪い、動かない。
- 大量の出血がある。

## 鼻血

まず、出血している側の小鼻を押さえて経過を見ます。それでも止まらなければ、ティッシュなどを鼻につめます。その時、頭を高い位置にして安静にすることが大切で、さらにできれば顔面を冷やしてください。5～10分経過をみて血が止まらなければ、すぐに病院へ連れて行きましょう。



## 耳が痛い

中耳炎などの耳痛は夜間に突然起こることがありますが、まず解熱鎮痛剤で当面の痛みをとり、翌日診療時間内に耳鼻咽喉科を受診すれば、特に問題のないことがほとんどです。



## やけど

やけどの応急処置で大切なのは、病院へいち早く受診することよりも、**速やかに冷やすこと**です。やけどをしたら、すぐに冷水(常温の水道水でも可)で5～15分冷やします。水ぶくれはなるべくつぶさず医療機関で処置をしてもらいましょう。流水がかけられない部分は、氷水で冷やしたタオルを当てます。赤ちゃんが突然泣いて皮膚が赤くなったり、水ぶくれができている場合は、やけどかも。ファンヒーター、炊飯器、ポットの近くに子どもを一人にしないでください。



## 食物アレルギーについて

乳幼児は、湿疹で発症する 경우가多く、顔の湿疹から始まり、軟膏治療してもなかなか改善しない場合に食物アレルギーを疑います。乳児期後期以降では、**原因となる食物摂取後2時間以内(多くは1時間以内)に皮膚症状(痒み、発赤、じんましんなど)や粘膜症状(唇やまぶたの腫れなど)が出現すること(即時型)が多いです**。他に、消化器症状(腹痛、悪心、嘔吐、下痢など)、呼吸器症状(くしゃみ、鼻閉、嘔声、喘鳴、呼吸困難など)、循環器症状(不整脈、血圧低下など)、神経症状(不安感、意識消失など)などがみられます。原因食物としては、乳幼児期は、鶏卵、乳製品、小麦が多く、**学童期以降では、そば、エビ、魚類などが上位を占めています**。また、幼児期以降で、花粉症と関連のある果物、野菜や、学童期以降になると摂取後に運動すると強いアレルギー症状を起こす小麦や甲穀類がアレルギーの原因として注目されています。

## 熱中症

顔色が蒼白または赤い顔で、発汗があり、めまい、立ちくらみ、筋肉のこむら返りが認められる時は、涼しい場所に移して(室内であれば、温度、湿度を下げる。)衣服をゆるめ、体にぬれタオルを当てて扇ぎます。また、氷枕や氷のうを首、わきの下、太もも内側のつけねに置いて体を冷やします。意識があれば水分を、多量に汗をかいている場合は塩分も与えます。

## 過去に処方された「飲み残しの薬」について

次の感冒の際などに使用することは、基本的にはおすすめできません。複数の薬が一つに包装されている粉薬は、**時間が経つとお薬が変質してくる**からです。「頓服(解熱鎮痛剤)」のように単一のお薬であれば、湿気を帯びないように密閉容器(缶の箱など)に乾燥剤を入れて保存すると、2～3カ月以内であれば大丈夫です。「座薬」は、要冷蔵で半年程度は心配ありません。「水薬」は、冷蔵庫に入れておいても一週間が限度です。

## 子どもがよくかかる感染症

感染症名	主な症状
インフルエンザ	高熱3～5日、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛、関節痛、腹痛、咽頭痛、鼻水、咳、ふつうのかぜに比べて症状がひどい。
麻疹（はしか）	はじめの2～3日は、熱、咳、鼻水、目やになど、かぜと同じ症状。いったん熱が下がり、再び高熱が出ると同時に、全身に発疹が出現。発心出現後もさらに3～4日高熱が続く。
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳の下が腫れて痛がる。両側とも腫れるが、片側のみのこともある。髄膜炎の合併に注意。
風疹（3日ばしか）	発疹、発熱。
水痘（みずぼうそう）	みずをもった赤い発疹が、口の中から陰部、頭の中まで全身に出る。
咽頭結膜炎（プール熱）	高熱が4～5日続き、咽頭痛、目も赤くなる。プールに入らなくてもうつる。夏に限らない。
流行性角結膜炎（はやり目）	白目の充血、目やに、眩しく感じる、目の痛み、流涙。
手足口病	手のひら、足のうら、口の中に小さな水ぶくれができる。おしりやひざにできることもある。ときに高熱あり。
ヘルパンギーナ	発熱2～3日、のどの奥に小さな水ぶくれができて痛い。脱水症状に注意。
伝染性紅斑（りんご病）	頬がりんごのように赤くなる。太ももや腕には赤い斑点やまだら模様ができる。
ロタウイルス感染症	突然吐き始め、続いて水のような下痢（レモン色～白色）になる。
ノロウイルス感染症	ロタウイルス感染症と同様であるが、下痢症状は比較的短い。
RSウイルス感染症	咳、鼻水、鼻づまりなど、かぜの症状で始まるが、次第に咳がひどくなり、ゼイゼイと苦しそうな息になる。発熱は必発ではない。
溶連菌感染症	発熱、咽頭痛、(強い)咽頭発赤、莓舌、嘔気、腹痛、発赤疹、回復期に手指先端の皮膚の膜様剥離（6歳～12歳に多い）。
マイコプラズマ感染症	発熱（微熱のこともあり）、倦怠感、頭痛、かわいた咳が持続し増強する。幼児や学童に多い。



潜伏期間	主な感染経路	登園基準
1～4日	飛沫感染	発熱した翌日より5日、かつ解熱後2日を経過するまで。 幼児は、発熱した翌日より5日、かつ解熱後3日を経過するまで。
7～18日	空気感染	解熱後3日経過した後。
12～25日	飛沫感染	耳下腺、顎下腺または、舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好となるまで。
14～23日	飛沫、母児感染	発疹の消失後。
10～21日	空気感染	すべての発疹が痂皮化した後。
2～14日	飛沫感染	主要症状が消失して2日経過後。
2～14日	飛沫、接触感染	感染のおそれがないと認められた後。
3～6日	経口感染	全身状態が安定していれば。
3～6日	経口感染	全身状態が安定していれば。
4～21日	飛沫感染	全身状態が安定していれば。
1～3日	経口感染	下痢、嘔吐が消失した後。
12～48時間	経口感染	下痢、嘔吐が消失した後。
2～8日	接触、飛沫感染	症状が安定した後。
2～5日	飛沫感染	適切な抗菌薬による治療開始後24時間以降で、 全身状態が安定していれば。
1～4週間	接触、飛沫感染	全身状態が安定していれば。

産前・産後

親子の居場所や  
相談場所

一時期かり・保育

医  
療

公的支援

子育てマップ

アプリやマイ  
サイトの紹介



2023年4月版

# 予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD(ワクチンで防げる病気)を受けることが重要です。このスケジュールは、お子さまの予防接種に関しては、地域ごと

ワクチン名	接種済み	0歳	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳
<b>mRNAワクチン</b> <b>新型コロナ</b> <b>臨時</b>	<input type="checkbox"/>	接種スケジュールは変更になることがあります。事前に最新情報をご確認ください。												
<b>不活化ワクチン</b> <b>B型肝炎</b> (母子感染予防を除く) <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>			①	②					③				
<b>生ワクチン</b> <b>ロタウイルス</b> (飲むワクチン) <b>定期</b>	1価 <input type="checkbox"/> 5価 <input type="checkbox"/>			①	②	③								
<b>不活化ワクチン</b> <b>ヒブ</b> <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>			①	②	③								
<b>不活化ワクチン</b> <b>小児用肺炎球菌</b> <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>			①	②	③								
<b>不活化ワクチン</b> <b>四種混合 (DPT-IPV)</b> <b>三種混合・ポリオ</b> <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>			①	②	③								
<b>生ワクチン</b> <b>BCG</b> <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>							①						
<b>生ワクチン</b> <b>MR</b> (麻しん風しん混合) <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>													①
<b>生ワクチン</b> <b>水痘</b> (みずぼうそう) <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>													①
<b>生ワクチン</b> <b>おたふくかぜ</b> <b>任意</b>	<input type="checkbox"/>													①
<b>不活化ワクチン</b> <b>日本脳炎</b> <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>													
<b>不活化ワクチン</b> <b>インフルエンザ</b> <b>任意</b>	毎秋													
<b>不活化ワクチン</b> <b>HPV (2価、4価、9価)</b> (ヒトパピローマウイルス) <b>定期</b>	<input type="checkbox"/>													
<b>不活化ワクチン</b> <b>髄膜炎菌</b> <b>任意</b>	<input type="checkbox"/>													
<b>渡航ワクチン</b>	<input type="checkbox"/>													

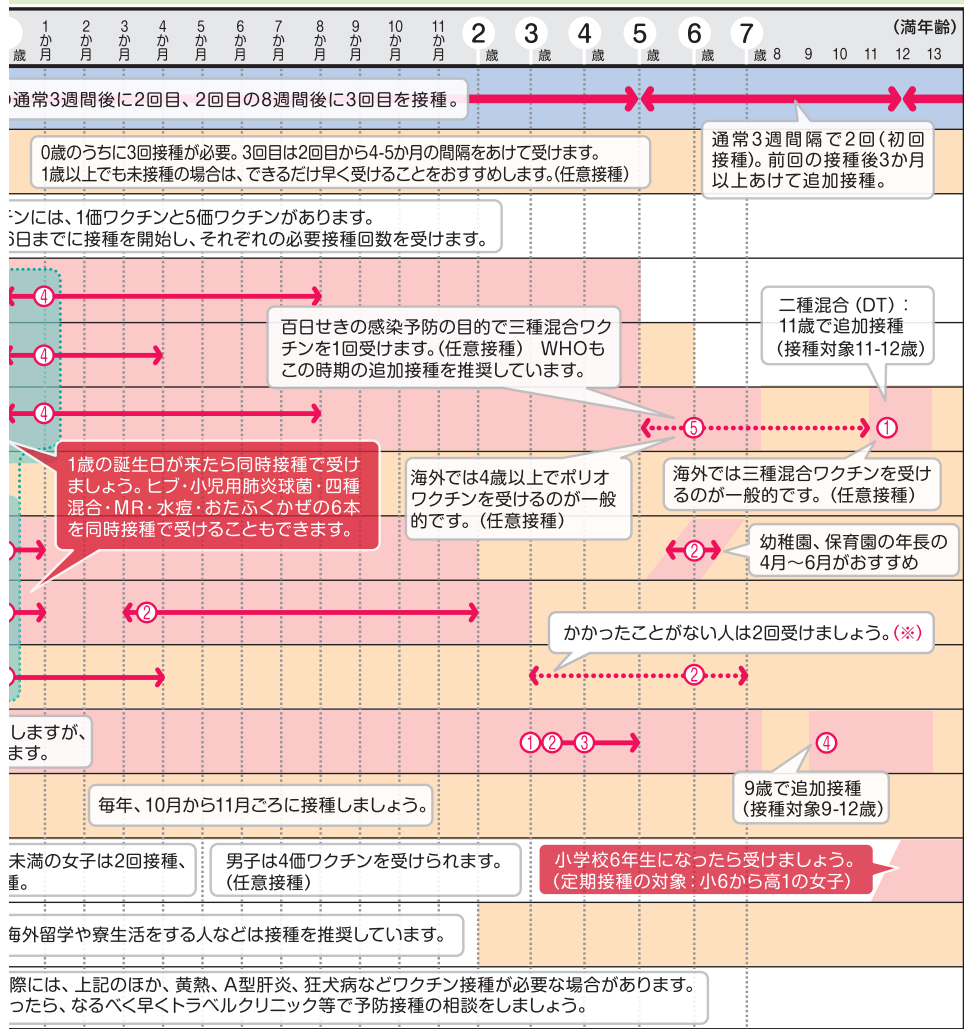
- mRNAワクチン** **臨時** 無料(全額公費負担)。
- 不活化ワクチン** **定期** 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。
- 生ワクチン** **任意** 多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

**同時接種:** 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも(大腿前外側部)も推奨しています。詳しくはかかりつけ

予防接種を受けられる際には、保健センターが事前にお渡ししている「**予防接種と子どもの健康**」を読みましょう。



病気を防ぐためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが大切です。予防接種はNPO法人 VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。この接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。



- 種の対象年齢 ◀○▶ おすすめ接種時期(数字は接種回数) (※) 添付文書に記載はないが、接種を推奨
- 種の対象年齢 ◀○▶ 添付文書に記載のないおすすめ接種時期
- 種できる年齢 ●異なる種類の注射の生ワクチン同士の接種間隔は最短で4週間です(4週間後の同じ曜日から接種可)。

詳しい情報は <https://www.know-vpd.jp/>

© NPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会

※出典 「NPO法人VPDを知って、子どもを守ろう」の会